

キャッチコピー：誰かの青春の 1 ページに、あなたの笑顔が残るかもしれない。そんな仕事を、佐渡島で。



ミッション名： 島外からの地域みらい留学生の生活サポートと定着支援
着任地域： 佐渡市移住交流推進課

着任地域紹介（団体紹介）

佐渡島は日本最大級の離島で、島内に高校は5校ありますが、少子高齢化の影響で生徒数は減少傾向にあります。

そんな中、令和7年度より島内3つの高校で、島外からの留学生を受け入れる「地域みらい留学」（高校島留学）の募集を開始しました。（うち、羽茂高校では令和5年度より受入開始済み。）

佐渡島ならではの広い空、広い海、広い田園風景といった大自然の中で、島外から来た地域みらい留学生在が都会とは違った経験を積むこと、そして島内の高校生との交流によって佐渡の教育環境への新たな刺激になることが期待されます。

ぜひ、私たちと一緒に、留学生たちが安心して過ごせる環境の整備と地域への愛着醸成に取り組みましょう！

（世話人）佐渡市移住交流推進課職員が3年間お世話します。

○解決したい課題、事業ミッション

【課題】

地域みらい留学は息の長い関係人口構築、地域の高校の生徒数維持、また教育の魅力化への寄与といった効果が見込まれますが、佐渡市においては3校における取組が始まった



ばかりであり、生徒の募集・受入体制確立・将来像の描出等がまだまだ道半ばの状況です。

生活サポートと定着支援のミッションでは、生徒の日々の生活のサポートや、地域との交流支援を行うことで、安心して暮らし、学ぶことのできる環境作りと関係人口作りを行います。

【ミッション】

- ・親元を離れて暮らす地域みらい留学生が、安心して暮らせるような生活サポート体制の構築（日々の生活サポート、生徒との面談、高校長期休み前後の送迎等）
- ・地域みらい留学生と島内生、地元の方との交流促進
- ・高校における探究授業への関与

○3年後の目指す姿（当該地域・協力隊員）

協力隊員：生徒たちのサポート体制を確立するとともに、地域のことを学ぶ中でキープレイヤーとつながり、佐渡で活躍できる人材となつてほしい。

当該地域：協力隊員と連携して生徒のサポート体制を構築し、協力隊員を卒業した後も本人の希望に応じて活躍できる体制を一緒に考え、作り上げていく。

○協力隊に求めるスキル（人物像）

- ・生徒ひとりひとりに向き合える誠実な人
- ・大人として、生徒と適切な距離感でコミュニケーションが取れる人
- ・組織の立ち上げや、サポート体制の構築にイチから一緒に取り組みたい人